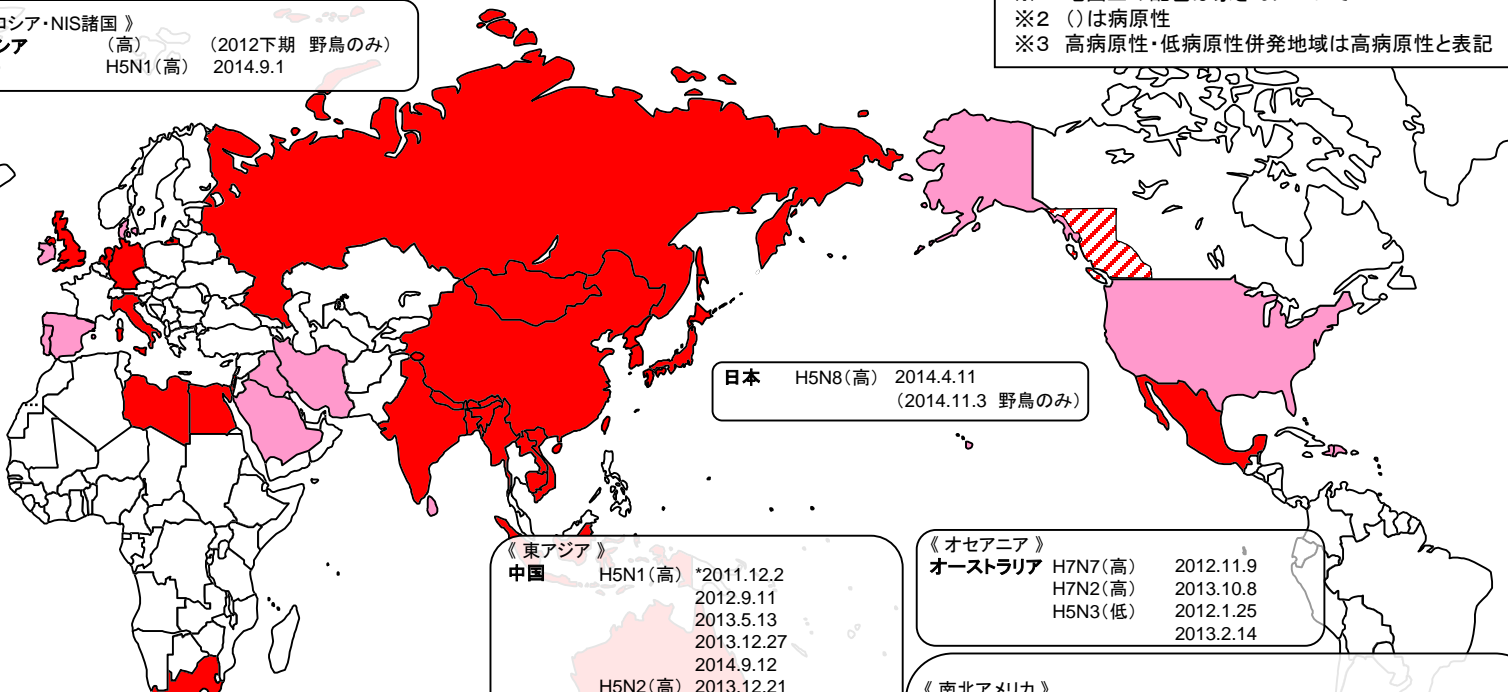


# 家きんの高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2012年以降)

高病原性発生地域 = ■  
 低病原性発生地域 = ■

※1 地図上の配色は家きんについて  
 ※2 ( )は病原性  
 ※3 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

《ロシア・NIS諸国》  
**ロシア** (高) (2012下期 野鳥のみ)  
 H5N1(高) 2014.9.1



**日本** H5N8(高) 2014.4.11  
 (2014.11.3 野鳥のみ)

《ヨーロッパ》  
**イタリア** H7N7(高) 2013.8.10  
 H5(低) 2012上・下期、2013上期  
 H5N2, H7(低) 2012上・下期  
 H7N2(低) 2012上期  
**オランダ** H5N8(高) 2014.11.14  
 H5N2(低) 2012.3.17  
 2014.3.12  
 H7N7(低) 2012.8.9  
 2013.3.11  
 2013.3.15  
 H7N1(低) 2013.5.31  
 2013.7.31  
**ドイツ** H5N3(低) 2013.11.27  
 H5N1(低) 2014.2.26  
 H5N8(高) 2014.11.4  
 H5(低) 2012.12.18  
 H5N2(低) 2013.11.13  
 2014.10.7  
**アイルランド** H7N7(低) 2013.5.15  
 H5N3(低) 2013.12.2  
 H5N1(低) 2014.3.9  
**デンマーク** H5N2(低) 2012.3.17  
 H7(高) (2012.12.14 野鳥のみ)  
 H7N7(低) 2013.5.31  
**スペイン** H7N1(低) 2013.5.9  
**ポルトガル** H7(低) 2013.11.28  
**英国** H5N8(高) 2014.11.14

《アフリカ》  
**エジプト** H5N1(高) 継続発生中  
**南アフリカ** H5N2(高) \*2011.2.1  
 H5N2(低) 2012.1.13  
 2012.6.1  
 2014.1.28  
 H7N1(低) 2012.2.24  
 2013.10.20  
 H7N7(低) 2013.2.28  
 H7(低) 2013.7.30  
**サントメ・プリンシペ** (低) 2012上・下期  
**リビア** H5N1(高) 2014.3.4

《南アジア》  
**インド** H5N1(高) (\*2011.10.30 野鳥のみ)  
 2012.1.3  
 2012.10.12  
 2013.2.27  
 2013.7.30  
 (2014.1.31 野鳥のみ)  
 2014.11.20  
**バングラデシュ** H5N1(高) \*2007.2.5  
**イラン** (低) 2012上・下期、2013上期  
**ネパール** H5N1(高) \*2011.11.10  
 2012.8.27  
 2014.2.13  
 (低) 2012上・下期、2013上期  
**ブータン** H5N1(高) \*2011.12.30  
**スリランカ** H5N2(低) 2012.1.20

《西アジア》  
**イラク** (低) 2012 1-5月、7-12月、2013 1-6月  
**イスラエル** H5N1(高) 2012.3.7  
 H5(高) (2012.3.13 猫)  
**パレスチナ** (低) 2012 1月、5月、6月  
**サウジアラビア** (低) 2012下期

《東南アジア》  
**ベトナム** H5N1(高) \*2006.12.6  
 2013.10.7  
 H5N6(高) 2014.4.22  
 H7(低) 2013.1.15  
**ラオス** H5N6(高) 2014.3.13  
 H5N6(低) 2014.7.14  
**インドネシア** H5N1(低) 継続発生中  
**カンボジア** H5N1(高) 2012.5.27  
 2013.1.9  
 2013.8.12  
 2014.2.7  
**ミャンマー** H5N1(高) 2012.2.20

《東アジア》  
**中国** H5N1(高) \*2011.12.2  
 2012.9.11  
 2013.5.13  
 2013.12.27  
 2014.9.12  
 H5N2(高) 2013.12.21  
 H5N3(高) 2014.9.12  
 H5N6(高) 2014.4.23  
 2014.8.23  
 H5N8(高) 2014.9.12  
 H7N9(低) 2013.4.4  
**香港** H5N1(高) \*2011.12.17  
 (2013.1.25 野鳥のみ)  
**台湾** H7N9(低) 2014.1.27  
 H5N2(高) 2012.2.7  
 2012.11.17  
 2014.4.15  
 H5N1(高) 2012.7.7  
 H5N2(低) \*2011.11.25  
 2012.11.12  
 2014.4.21  
**韓国** H5N3(低) 2013.7.3  
 H5N8(高) 2014.1.16  
 2014.9.24  
**北朝鮮** H5N1(高) 2013.4.19  
 2014.3.21  
**モンゴル** (高) (2012上期 野鳥のみ)

《オセアニア》  
**オーストラリア** H7N7(高) 2012.11.9  
 H7N2(高) 2013.10.8  
 H5N3(低) 2012.1.25  
 2013.2.14

《南北アメリカ》  
**米国**  
 ニューヨーク州 H5(低) 2012.1.20  
 2013.1.2  
 サウスダコタ州 H5N2(低) 2012.1.30  
 ペンシルバニア州 H5(低) 2013.2.1  
 H7N2(低) 2013.10.22  
 アーカンソー州 H7N7(低) 2013.6.6  
 ニュージャージー州 H5(低) 2014.2.11  
 H7N3(低) 2014.8.19  
 デラウェア州 H7(低) 2014.4.2  
 カリフォルニア州 H5N8(低) 2014.4.14  
**カナダ**  
 ブリティッシュ・コロンビア州 H5(確認中) 2014.12.1  
**メキシコ** H7N3(高) 2012.6.13  
 2013.1.3  
 H7N3(低) 2014.2.13  
 コアウイラ州(含14州) H5N2(低) 2012 1月、3-6月、8月、2013 1-6月  
**ドミニカ共和国** (低) 2012上・下期、2013上期  
**ハイチ共和国** (低) 2012上・下期、2013上期

※3 日付は発生日または検体回収日に基づく  
 ※4 \*は初発が2011年以前であるが2012年以降も発生のあるものを示す

※1 更新点: カナダ ブリティッシュ・コロンビア州における鳥インフルエンザ(H5)の発生(病原性確認中のため斜線で示す)

※2 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない

出典: OIE WAHID, FAO等

2014年12月2日現在